

報 告 書

(岡本 班)

開 催 日 時	平成 29 年 5 月 13 日 (土) 14:00～15:30	
開 催 場 所	美川公民館	
出 席 議 員	班長：岡本正友	
	司会者	佐々木豊治
	報告者	小川稔宏
	ファシリテーター	1 班 牛尾博美 2 班 原田義則
	記録者	柳楽真智子・小川稔宏
		議長団：西田清久議長
参 加 人 数	7 名	
主 な 要 望 ・ 提 言 等	<p>【 1 班 】</p> <p>○人口を増やすため、医療センターから 10 km 圏外は地区にヘリポートを設けドクターヘリでの救急搬送体制を確立する。県立大学に航空学科をおき、機器も常備する。</p> <p>○美川に 30～40 年住めば、福祉施設に自動的に入れるようにして 20～30 代の人々の定住化を図ることで活性化につながり経済効果も得られる。</p> <p>○問題点は 70 歳以上が増え町内会が回らない、空き家が増えている。道路舗装の予算付けは難しいのか。</p> <p>○ベトナム、中国、台湾等、外国人で小さい子どものいる世帯の受入れのために住宅や土地を安く提供し定住化につなげる。</p> <p>○農地対策について田と田の間の道が狭くて売れない買えない状態。道の拡張に土地提供の意向もあるので工事費助成等の施策を進めるべき。</p> <p>○雇用促進の活用や農地の無償提供、定住化施策を「美川特区」としてマネジメントして欲しい。</p> <p>○市営住宅も便利の良いところばかりに建てずに、少し入ったところに作って欲しい。</p> <p>○バスが浜田から鍋石止め櫛田原止めだが、道も良くなるので双方がループ式に周遊運行するよう検討すべき。</p>	

【2班】

- 町内会役員のなり手がいなくなっている。
- 草刈りを町内会の人で行うといっても、それさえも難しい状態になっている。
- 町内のコミュニティが困難になっている。
- 道路沿線の雑木が大きくなって、将来危険になり住民だけでは対応ができなくなると思うので、対応してほしい。
- 学校周辺は人の出入りが多いので、見通しを良くしておかないと危険である。歩道がなく、植え込みで人も車も見えにくいので、通る時にヒヤッとすることがある。
- 小規模の小中学校をこれからどうするのか、早めの対応が必要だと思う。
- 草刈りの対価は少ないが、業者に頼めば高額となる。人が少ない地域では、一人に負担がかかっていることに対して、市はどのように考えているのか。
- お魚センターに活気がない。呼び込みの声もないし、外から見て開いているのか、閉まっているのか分からないようでは、人は来ないと思う。PRはどうなっているのか。
- ひと町内の世帯が少ないところは、統合した方がいい。
- 公民館の分館のあり方を検討してほしい。
- U・Iターンの人の意見を、しっかりと聞くことも必要だと思う。長年住んでいて気付かないことがあるから。
- 広島のリゾートタウンとしての位置づけ。
- 高速道路が無料だった時、交流人口が増えた
- 浜田城山の整備をして、みんなから愛される場所にしてほしい。
- 浜田を愛する心を育てることが大切である。

浜田市議会議長 西田清久 様

平成 29 年 5 月 21 日

浜田市議会報告会規程第10条第1項の規定により提出します。

岡本 班

代表者 岡本正友